

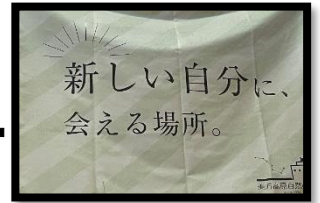


立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 10. 8 (水)
No.33

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

きく・聞く・訊く・利く・効く・聴く…



自然学校中は、私も子ども達に話をする時間をいただきました。とちのき村の幟の話を開校式でしていただきましたので、「新しい自分に会いましたか。」と何度かたずねました。子ども達からは「整理整頓ができています。」「自分で、朝起きることができています。」「お鍋洗いが一生懸命できて、得意かもしれない。」など、うれしい応えが返ってきました。今までできなかったことが、実はやればできる。やらなくてはならない状況があると、やれるようになる。するしかない。

高学年といえど、まだまだ11年しか生きていない小さな5年生。こんなに長く親元を離れ、一人で自分のことをやりきることは初めての子どものほとんどでしょう。そして、それは、集団生活でもあるので、他の人にあわせる必要がある。時間を守り、相手の気持ちを考えて行動する。もう、てんやわんやだったでしょう。日頃、自分がどれほど、お家の方に支えられているかを感じたでしょう。新しい自分との出会いと同時に、感謝の気持ちもわいたことでしょう。

また、5年生の実態として、「きく」ことを苦手としている子どもが多いなと感じました。不安なのか、今、話した内容をまた、確認し、訊いてくる子どもが非常に多いと感じました。「今、説明したよ。聞いていました？」とつつこみを何度もいれそうでした。ですから、自然学校中の早い段階で「きく」ということについて、お話をしました。その後の子ども達はすばらしかったです。静かに、先生の話聞き、心にとめ、メモをとる様子もありました。頑張ろうとする姿を何度も見ました。寝食を共にし、自分達がどう考動・行動すべきか大人に言われなくても自ら動けるようになる姿が増えました。

山村教頭先生が閉校式で子ども達の心に利かせるお話をしてくださいました。「新しい自分。それは、頑張れる自分であったり、だめな自分であったり。どちらの自分もそれが自分自身の今の姿だ。これからの自分にどうつながるかが大切である。」といった内容でした。

そして、昨日の放課後には、5年担任の中西先生から、自然学校後、Hくんがお家の人の手伝いをしていての報告が本人からあったと、とてもうれしそうにお話を聞かせてくださいました。自然学校での学びが家での生活にも効いているのだなあと感じたところです。

いつもと違う、明日のために。



そして、なんといっても、5年生担任団、みのり学級担任団です。仕事といったらそれまでですが、毎日夜遅くまで、子ども達の安心と安全、笑顔を引き出す4泊5日の準備を重ねてきました。どうぞ、子ども達から聴く自然学校での学びから感じた保護者の皆様の感想と同時に、担任達への労いの言葉をいただけると嬉しいです。

実は、とちのき村のもう一枚の幟には「いつもと違う、明日のために。」と書いてあります。

私達、立花西小学校教職員は、これからも組織一丸となって、子ども達のいつもと違う、明日のために、今日も、子ども達の言葉に耳を傾け、目を見つめ、心で感じ、子ども達の話聴きたい。寄り添いたいと考えています。自然学校の成功に、大きな拍手を送ります。これからの5年生の姿にも期待しています。